

3年生学年便り

平成 28 (2016)年 6 月 27 日
第 23 号
吹田市立第二中学校第三学年

劇団四季ミュージカル「ウエストサイド物語」

期末テストも終わり、いよいよ夏休み。夏休み明けには、最高学年として取り組む文化祭が待っています。その文化祭を行うためには、やはり、本物にふれなければなりません。今年は、なんと・・・大阪を離れ、劇団四季京都劇場で「ウエストサイド物語」です。どんなキャストが、どんな演技をし、どんな大道具や小道具が使われ、どんな演出がなされるのでしょうか。いろいろな視点から、たくさんのことを学び、素晴らしい舞台を作りましょう。

<なぜ観劇をするのか？>

- ・文化祭の舞台発表に向けて、プロの演技に触れ、イメージをふくらませよう。
- ・エンターテインメントの世界で働く人たちの演技から、本物の凄さを実感し、自分自身の将来の夢の実現の刺激にしよう。
- ・仲間と協力し、公共のルールやマナーを守りながら、現地集合・現地解散しよう。

<いつ？どこで？>

日 時 7月1日(水曜日) 13:30~
場 所 京都四季劇場
京都駅ビル 京都府京都市下京区烏丸通塩小路下 京都駅ビル内
服 装 本校指定の制服(ポロシャツ、スカート、スラックス)
費 用 徴収させていただいている費用を使います。
現金の必要はありません。
引率者 3年生の先生

<観劇マナー>

- ・服装はフォーマルで。制服をきちんと着用
 - ・上映中のおしゃべりはNG
 - ・背もたれは蹴らない・浅く座らない・前のめりにならない
 - ・舞台ではかけ声や声援はNG
- ただし、歌の後、幕の終わりなどのタイミングでの拍手はOK
閉演後にキャストがお客さんにあいさつに出てくるカーテンコールでは大きな拍手を！

劇団四季とは・・・

1953年7月14日創立の劇団四季は、現在8つの専用劇場を持ち、年間のステージ数(総上演回数)は3000回を超えます。

単純計算しても1日あたり8公演、多いときには日本列島の12箇所で劇団四季の舞台が上演されているということもあるのです。また、国内での上演活動の一方、海外交流や舞台芸術の振興を図るための様々なプロジェクトにも取り組んでいます。海外での公演のみならず、諸外国の優れた舞台芸術団体との交流、俳優や技術スタッフの養成についての協力など、その活動は多岐にわたっています。劇場での演劇活動以外にも、チケットシステムを独自開発するなど市民社会と演劇とのかかわりがより深くなることを目指してきました。

こういった活動を支えている構成員は、俳優や技術部スタッフ、経営セクションなど総勢1000名を数えます。

良質の舞台を世に送り出す、という目的のために集まった人々が、それを真摯なビジネスとして展開しているのです。

演劇が市民社会に深く根を下ろしている欧米に比べると、現在の日本で演劇を楽しむ人々は多いとは言えません。

近年、観劇人口は顕著に増えてはいますが、日常生活の中に常に観劇があるという状況にはまだ至っていないと思われます。

しかし歴史をめぐると日本人は、能・歌舞伎・狂言など世界に誇る様々な伝統芸能も有した世界有数の演劇愛好民族なのです。

これからも、劇団四季は演劇界に新たな潮流を生み出し続けてまいります。

(劇団四季ホームページより)

STORY



低所得者たちの町・ウエストサイドでは、貧困と差別の中、若者たちが縄張り争いに明け暮れる荒廃した日々を送っていた。

自分たちの境遇と、自分たちを追い込んだアメリカ社会へ強い反発を感じながらも、若者たちは抑えようのない苛立ちを、非行や暴力という形でぶつける他なかった。物語は、そんな彼らの鬱屈したエネルギーが発火点に達した瞬間から始まる。